

はにい

May I help you?

平成30年2月8日

文房具店、寿司店、アイスクリーム店、スイーツ店にファーストフード店……。大学の講義室にたくさんのお店がオープンした。机の上には手作りの素敵な商品やお金が並んでいる。

“May I help you?” (いらっしやいませ)

“Chocolate, please.” (チョコレートください)

店員さんとお客さんを演じるのは小学校の先生たち。

新聞紙で作った格好良い帽子を頭にのせた「寿司職人」が、“What would you like?” (何にしましょう?) と、元気な声をあげる。

ファーストフード店からも楽しそうな会話が聞こえてくる。

“Two hamburgers, three French fries.” (ハンバーガー2つとポテトを3つ。)

店員さん役の先生が注文を聞きながら、金額が書き添えられた商品のカードをトレイの上に素早く並べた。

“How much?” (おいくらですか?)

“Hamburger! - 200 yen, and French fries - 100 yen.” 「だから…」 “200 yen plus 100 yen...300 yen.” 「もう一つハンバーガーだから…」 “300 yen plus 200 yen...”

「あっ! そうだ。」



トレイに雑に並んだハンバーガーのカードとポテトカードをすべて手に取った。

「クラスの子もたちなら、かけ算を使うかな…」
今度はハンバーガーとポテトを金額ごと、それぞれ一列に並べた。

“200 yen×2! 100 yen×3! 400 yen plus 300 yen...700 yen”

“Here you are.” (はい、どうぞ。)

“Thank you. Please come again.”

(ありがとうございます。またおいでください。)

小学校の先生だからできること。小学校の先生だから思いつくこと。アイデアいっぱいの英語での楽しい買い物が続いた。